



# 国際プラザニュース



発行: (公財) 宮崎県国際交流協会 〒880-0805 宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階  
Tel: 0985-32-8457 Fax: 0985-32-8512 ホームページ: <https://www.mif.or.jp/> E-mail: [miyainfo@mif.or.jp](mailto:miyainfo@mif.or.jp)  
開館時間: 10:00~19:00 [火曜~土曜] 休館日: 日曜・月曜・祝日・12月29日~1月3日

## Zoomでオンラインにほんご 初級

### 宮崎県央地域 ※要申込み

オンラインで日本語を勉強しましょう!  
はじめて日本語を勉強する人や、ひらがな・カタカナから勉強したい人のための講座です。  
※ZoomはWeb会議システムで、ダウンロードが必要です。



◇日時: 6月16日(火)~9月18日(金)  
毎週火曜日・金曜日  
オリエンテーション(1時間)が1回、  
日本語の授業が全25回  
10:00~11:40

◇対象: ①宮崎市・国富町・綾町・西米良村・西都市・  
新富町・高鍋町・川南町・都農町・木城町に  
住んでいて、Zoomが使える人  
②20歳以上で学生ではない人  
③オリエンテーション1回(1時間)と授業  
全25回に参加できる人

◇定員: 8名(応募多数の場合は抽選)  
※働いていない人・宮崎市以外に住んでいる人  
を優先します。

◇受講料: 無料 ※教科書代がかかります

◇教科書: 『いっぽにほんごさんぽ 初級1』

※詳細はメールにてお問合せください。申込用紙をお送りします。

◇申込み・問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会  
(担当: 小原)

## 国際化推進事業費補助金制度のご案内

県内の団体が国際交流事業を行う場合、次の条件により事業費の一部を補助します。

希望される団体は申請関係書類をお送りしますので、ご連絡ください。事業内容等を審査し、交付団体を決定します。補助金は精算払いにより交付します。

◇対象事業: 団体が行う県民の国際交流の推進に寄与する  
先駆的・効果的な事業で、原則として一般県民  
が参加できる事業、又は一般県民  
への波及効果があるもの。

◇対象経費: 上記事業の実施に必要な経費  
(団体運営費は除く)

◇補助金: 事業費の2分の1以内(限度額5万円)

◇申請締切日: 6月末日

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会 (担当: 小倉)



## 宮崎県国際プラザ再開のお知らせ

5月12日(火)から国際プラザとみやざき外国人サポートセンター横のフリースペースのご利用が可能になりました。図書の貸出も再開しています。



消毒しよう

以下の事業も順次再開しています。

- ・日本語講座(初級) 6/2(火)~
- ・日本語れんしゅう会 5/27(水)~
- ・国際交流チャット 英語(初級) 5/30(土)~  
英語(中・上級) 6/6(土)~  
中国語 5/26(火)~  
韓国語 5/28(木)~



マスクしよう

皆様のお越しをお待ちしております。  
※ご来館の際は、手洗い、咳エチケット等の感染対策へのご協力をよろしくお願い致します。

## (新版)「外国人住民のための防災パンフレット」

防災パンフレットを改訂しました。  
日本語版・英語版・中国語版・韓国語版があります。  
不測の事態に備えて、ぜひ防災パンフレットをご覧ください。  
宮崎県国際プラザ、みやざき外国人サポートセンターに置いてあります。

6月~7月は梅雨の季節。今から考えておきたいのが、大雨・洪水災害のこと。これまで、県内各地で大雨による被害が発生し、地域住民の方の中には避難した方も少なくありません。

コロナウィルスが蔓延する中、もし災害が起きたらあなたは どうしますか?

いざというときのために、今のうちから対策を考えておきましょう!



## 賛助会員募集!

年会費 法人:10,000円 個人:2,000円

- \*賛助会員になると・・・
- ・毎月発行している「国際プラザニュース」をお届けします。
- ・年2回発行している広報誌「South Wind」をお届けします。
- ・協会が開催する講座に優先的に参加できます。
- ・協会が開催する講座の参加費を割引します。
- ・(賛助団体対象) 協会ホームページからリンクが可能です。

CORONAとの闘い！（共存）新生活様式で乗り切ろう！  
今月は海外からのコロナ対策現地レポートおよび応援メッセージ  
をお届けします。（\*レポートは、5/15時点のものです）

## ニュージーランドからの現地レポート

宮崎在住経験のあるシボーン・ホールさんに  
ニュージーランドでの新型コロナウイルスの影響  
について伺いました。




2020年3月24日、ニュージーランド政府は、警戒レベル4である4週間のロックダウン（都市封鎖）を行うと発表しました。生活に必要なサービスであるスーパーマーケット、薬局、ガソリンスタンドだけが営業しました。その他は休業し、可能な限り在宅勤務が求められました。接触できるのは同じ家に住む人、私の場合夫だけでした。子どもや孫、両親、友人に会うことはできません。しかしその結果ウイルスの感染者が減少しました。4月28日のニュージーランドの感染者は3人と報告されました。同居している人と近所であれば散歩やジョギングができるようになりました。ただ70歳以上の人は家から一歩も出ることができません。買い物にも行けず、家族に頼むか、家まで配達してもらわなければなりません。同じ日に国は新型コロナウイルスに関する警戒レベルを3に引き下げ、一部の企業は再開しました。レストランやカフェは持ち帰りのみで営業できるようになり、私たちはネットで注文し、店の外で待ち、コーヒーや料理を受け取って持ち帰ります。1人が2人であれば家族に会えるようにもなりました。レベル3の状態があと2~3週間続き、その後レベル2になってほとんどの人が仕事に戻ることを願っていますが、人と近くで接しないよう今でも注意しています。「鎖国」状態は続いています。他の国と同じようにニュージーランドも経済的に困難な状況にあります。

このような状況の中、心と体の健康を保つため、毎日エクササイズをしています。ジョギングは外に出て新鮮な空気を吸うことで健康になれます。オンラインでヨガやピラティスもやっていて、これも体と心にいいです。毎週のオンライン飲み会も楽しいです。みんなで話して、笑って、近況報告をします。夫とガーデニングもします。ロックダウンで家族に会えないのはつらいですが、できるだけ前向きに健康に過ごしています。レストランで食事をしたり、ショッピングを楽しんだり、家族や友人に会える日を楽しみにしています！！家にいるのは退屈です！つらい時期ですが、近いうちに終息することを祈っています！

宮崎の皆さんもどうか健康で明るくいてください。大変な時もありますが頑張ります！みんなで乗り越えましょう！

## ハワイからの現地レポート

以前宮崎に滞在していたスティーブ・バゼルさんに  
ハワイでの新型コロナウイルスの影響について  
伺いました。 

ここ数か月で状況はかなり変わりました！ハワイには通常、1日平均28,000人の訪問者があり、そのうち日本人が4,000~5,000人で米国外からは最大です。3月にすべてが劇的に変化しました。コロナウイルスの影響によりほとんどの企業が閉鎖され、ハワイに到着した人は14日間の隔離措置が義務付けられまし

ビーチや公園は閉鎖され、ウォーキングやエクササイズはできませんが、いすに座ったり、砂の上に座ったり、ピクニックをすることは禁止されています。実際、地方自治体はこれらの行為を犯罪とみなし、警察は違反チケットを発行して罰金を科したり、時には逮捕して収監します。逮捕された人の多くは米国本土からの訪問者で、格安の航空運賃とホテルに惹かれてやってきて、ホテルの部屋から抜け出してビーチや他の場所に行きます。そもそも休暇に来て、部屋にじっとしてられる人なんているのでしょうか？

これまでのところ、州全体で感染しているのは約620人で、そのうち540人が完全に回復し、亡くなったのは16人です。ハワイはとても晴れていて、海から吹くさわやかなそよ風が吹いているので、他の州と比べて重症になった人が少ないのではないかと思います。

こんな状況ですが、裏庭でさえずりながら飛び回る鳥たちを見る、そんなちょっとしたことで満ち足りた気分になります。何を話しているのか、うれしいのか悲しいのか、何を思っているのか想像してみます。また、知人や友人とメールのやり取りをして、感じたことや経験を共有するのが楽しいです。コロナウイルスが大流行している今、孤独を感じたり憂鬱にならないようにすることが特に大切だと思います。私も妻のトキコと夜3キロほど歩き、体調維持に努めています。コロナウイルスの問題が終息し、ここホノルルか宮崎で皆さんと会えるのを楽しみにしています！

### 今月のおすすめ図書 その①



#### 旅好きにおすすめ『TRANSIT』

毎号、編集者たちが世界中で出会った景色、食べ物、そこに生きる人々の人生観から、歴史や文学、映画など、様々な視点からその国を知ることができるトラベルカルチャー誌です。旅に出ることは難しい、でも世界の多様な文化に触れていたい、そんな人にぴったりな、とにかく写真が美しく読み応えのある一冊です。最近発行されたものの中では、個人的に46号（特集：中国四千年の食をめぐる旅）がおすすめです。宮崎に居ながら、活気あふれる中国を支える豊かな食文化をめぐる旅を試みませんか。

### 今月のおすすめ図書 その②



『信じられない「原価」買い物で世界を変えるための本』

みなさんは「サプライチェーン」や「食品ロス」、「搾取工場」という言葉を聞いたことがありますか。この本は子供向けの本ですが、IT機器やおもちゃ、食べ物の原料や、だれが生産しているのか、どんな仕組みで私たちの手に届いているのかを写真つきでわかりやすく説明しています。生産や流通の仕組み、その間に起こる不当労働について考えてみるよききっかけとなる本です。

## ♪プラザニュース 英語版より

≪たぶん皆様が思っている  
RUMIではない≫



県国際交流員  
マーシュ グレアム

御機嫌いかがでしょうか？現在の先があまり見通せない状態を見て、大昔の面白い話を思い出しました。13世紀のペルシャ（現在イラン）の詩人ジャラルール・ウッディン・ルミ（字数が限られていますので以下「ルミ」にさせていただきます）が書いた話ですが、話の主人公のスルタンが信頼していた人にだまされたので、落ち込んでいました。それを乗り越えるために、ある賢人に悲しいとき嬉しくさせる魔法のアクセサリーの制作を頼むことにしました。その賢人が作り出したのは、「ابن نیز بگنرد」（和訳しますと「これも消え去る」）という文字が彫ってあった指輪でした。効果は抜群でしたが、スルタンが嬉しいとき、悲しくさせてしまう効果もありました。それにしても、ルミの話は、細かいことをこだわりすぎず、全体像をつかむことの大切さを思い出させますね。